第２９号
2006/11/1

フクタニュース

発行
（株）コクタ
砕石部

原石山調査を実施

当社サッパ沢地区における原石賦存量及び、品質についての概略を把握するため弾性波調査を実施しました。

これはハンマー打撃による振動の伝播速度を計測することで地山の緻密さや風化度合いを調べるものです。

当社（安山岩）の採掘対象岩石における弾性波速度の目安は３５００ｍ／ｓｅｃ～５０００ｍ／ｓｅｃ程度と推定されます。伝播速度が速いほど新鮮で緻密な岩石が賦存していることになります。

今回の結果を参考に中長期の採掘計画を立案していこうと考えています。

業界雑感

第三十三回砕石技術大会が東京で開催され、全国各地の現状を聞くことができた。品質、流通、環境、安全、コンプライアンス等、色々な問題に皆さん頭を悩ましている。特に価格の値戻し（そういう言葉を使っていた）は、最重要問題と感じている人が多いようだ。

砕石業の場合、単年度決算で一喜一優もしていられない。それは採掘跡地の復旧に多額の経費が必要となるからで単年度では見えない経費である。

適正価格の維持はその裏づけであり、不可欠なことである。それにしても関東以西は景気がいいようだ。岩手とは別世界の感がある。しかし、砕石業界もそろそろ勝ち組負け組が見えてきた雰囲気がある。諸課題への適格かつ柔軟な対応が問われる時代である。

Soil Recycle Center 栃木
ソ レッ ク

関東周辺では、油汚染土壌を無害化し適正処理する需要があるそうで、ソレック栃木はその需要に応えるべく栃木県佐野市に作られた油分過熱蒸発処理型の中間処理施設です。施設は採石場の敷地内にあり無害化された土砂は、原石採掘跡地の埋め戻し材として再利用されています。合材工場の技術と砕石事業における残土受入ニーズを合体させた事業で、関東周辺ではこれから認知度が高まるにつれ将来性のある事業とのことでした。ちなみに受入単価はｔ当たり10,000円とのこと。

盛　者　必　衰

プロ野球は日本ハムが日本シリーズを制し、新庄の引退が異常に際立った形で幕を閉じた。

ペナントレース最終盤の９月末、神宮球場でセリーグ公式戦ヤクルト対巨人戦を観戦した。この時期の巨人戦といえばプラチナチケットであるはずが球場はガラガラ・・試合はダラダラ。のどかな野球を観させていただいた。それにしても巨人のブランドはどこへいってしまったんだろう。企業の寿命５０年説というのをつい思い出した。栄枯盛衰、驕れる者久しからず。（自戒をこめて）

不法投棄パトロール

国道340号線沿線、青森県境付近に不法投棄の常習場所がある。撤去しても看板を設置しても不法投棄が後をたたない場所である。そこへ監視カメラが設置された。以来、不法投棄はないそうだ。見られていることの抑止効果は絶大なものである。

県道24号小峠付近は折爪トンネルが開通して以来、旧道への不法投棄が目立つようになってきた。「誰かが見ている」「誰も見ていない」という問題ではないのだろうが、監視カメラごときに大きく左右される人間の行動心理を情けなく感じた。

編集後記

小春日和のある日、事務所の窓を見るとカメ虫が3匹とまっていた。あの強烈な臭いの元はなんだろうと、ネットでみてみたら『不飽和のアルデヒト類？』であるそうだ。この悪臭をうすめて香水の原料に使うこともあるそうで、これは驚き！逆にうんと濃縮しカプセルをつくり、わがままな核実験を強行した北朝鮮上空でばらまいてみたら・・全正日が地団駄をふんで悔しがる姿を空想した。